

# M☆3

杉原邦生演出作品

『こいのいたみ～come on! ITAMI～』

2011.1.9 (SUN) 14:00・19:00 / 10 (MON) 15:00

## @ AI・HALL

M☆3 が放つ 2011 年最初のラヴストーリー♥

(表向きは) 生きる上での障がいの少ない平和な J! ☆DA☆!

でもでも、障がいが無ければ恋は成立しないの!

つまり→恋が成り立ちにくい時代Σ(□□)

じゃあ、なんとかするしかないじゃん

恋という快楽を享受させるお! (AOA)/

愛って言え! →say, 愛! →性愛!? そんなバカな!

M☆3 が放つ 2011 年最初のラヴストーリー♥

これから先も、ずっとずっと、幸せ☆

恋愛障がい者の恋愛障がい者による恋愛障がい者のための恋愛療法

これが、こいのいたみ…!?

### アイホール (伊丹市立演劇ホール)

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹 2-4-1 火曜日休館、JR 伊丹駅前 / 阪急伊丹駅より東へ徒歩 7 分

☎ tel:072-782-2000 fax:072-782-8880 ✉ info@aihall.com 🌐 http://www.aihall.com



助成：財団法人アサヒビル芸術文化財団、平成 22 年度文化庁芸術拠点形成事業  
主催：公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市



演出・美術＝杉原邦生

作＝ブルーバード / スーパーバイザー＝吉澤祐太

出演＝芦谷康介、岩崎小枝子 (France\_pan)、金子仁司 (維新派)、木ノ下裕一 (木ノ下歌舞伎)

桐澤千品、黒田政秀、孝学直、坂原わかこ、杉原邦生、高田麻里子、出村弘美、殿井歩

松田卓三 (尼崎ロマンボロ)、陰核 (元・男肉 du Soleil)、城之内ココロ (元・男肉 du Soleil)

吉田みるく (元・男肉 du Soleil)、ジャングルちゃん (元・女肉)

特別参加＝池浦さだ夢 (元・男肉 du Soleil)

照明＝魚森理恵 音響＝齋藤学 舞台監督＝大鹿展明 衣裳＝清川敦子

ドラマトック＝P・ビート 演出助手＝村上千里、片山将磨

2011 年 1 月 9 日 (日) 14:00・19:00 / 10 日 (月・祝) 15:00

\*開演 1 時間前より受付開始。入場整理券を発行します。\*開場は開演の 30 分前。\*未就学児童の入場はご遠慮ください。

< 料金 (日時指定・全席自由) >

前売：¥2,500 当日：¥2,800

学生 & ユース 前売：¥2,000 学生 & ユース 当日：¥2,300

\*ユース＝25 才以下。学生 & ユース券のお客さまは、当日受付にて学生証が年齢の分かる書類をご提示ください。

< チケット取扱 >

◎チケットぴあ tel: 0570-02-9999 [Pコード: 408-551] <http://t.pia.jp/>

◎JCDN ダンスリザーブ (オンラインチケット予約) <http://dance.jcdn.org/>

◎アイホール tel: 072-782-2000

### (PROFILES)

▶杉原邦生 [Kunio Sugihara] <http://www.kunio.vis.ne.jp/>

1982 年東京都出身。演出家・舞台美術家。お祭り隊長。EXILE ファンクラブ "EX FAMILY" 会員。主な演出作品に、キレなかった 14 才♥リターンズ『14 歳の国』、KUNIO06 『エンジェルス・イン・アメリカー 第 1 部』、木ノ下歌舞伎『動運帳』など。Take a chance project では 08 年 2 月 KUNIO03 『椅子』(作: E・イヨネスコ)、09 年 1 月 KUNIO05 『迷路』(作: F・アラバール) を上演。

▶ブルーバード [Bluebird]

魔法戦士・ブルーバード。スピリチュアルな感応により創造するメルヘン・メンヘル作家。近年はケータイ戯曲の発展に可能性を見ている。うん♪恋がしたーい☆カウマ。代表作に『バターナリズム』『ツアラストラウスが語ったあとで』など。

▶M☆3 [エム☆スリー] <http://m3atars.web.fc2.com/>

try M stars、通称「M☆3 (エム☆スリー)」。坂本秀夫が杉原邦生、吉澤祐太とともに 2003 年に結成した演劇・イベントユニット。関西と坂本の福岡を中心にした活動を繰り返す。物語の死滅した時代へ対応した表現として定評がある。(演劇評論家・落合博光 談) 代表作には「ヒメール」シリーズ、『広辞苑の使い方』(第一回ねぶた演劇祭特別賞受賞) など。

"Take a chance project" とは…

アイホールと関西を拠点とするパフォーマンスアーティストが、1 年に 1 作品ペースで 3 作、継続的に新作を共同製作します。「Take a chance」は、米語で「いちゃかちか」という意味のイディオム。アーティストの新しい挑戦と、未知の才能に賭け、見守り育成しようとする劇場・観客の気持ち象徴しています。

